

インマヌエル中目黒キリスト教会
2009年5月10日
聖日礼拝

五旬節に向かう②

「御霊の自由な働き」

ヨハネの福音書3章5-8節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

ヨハネの福音書 3章 5節- 8節

5 イエスは答えられた。

「まことに、まことに、
あなたに告げます。

人は、

水と御霊によって生まれなければ、
神の国にはいることができません。

6 肉によって生まれた者は肉です。

御霊によって生まれた者は霊です。

7 あなたがたは
新しく生まれなければならない、
とわたしが言ったことを
不思議に思っはなりません。

8 風はその思いのままに吹き、
あなたはその音を聞くが、
それがどこから来て
どこへ行くかを知らない。
御霊によって生まれる者もみな、
そのとおりです。」

説教

五旬節に向かう②

「御霊の自由な働き」

ヨハネの福音書 3章 5節－ 8節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「風はその思いのままに吹き、
あなたはその音を聞くが、
それがどこから来て
どこへ行くかを知らない。
御霊によって生まれる者も皆、
その通りです。」

(ヨハネ3:8)

はじめに:ペンテコステは大切な日

- 初代教会が重視
(1コリント**16:8**、使徒**20:16**)
- 「聖霊の就任式」
- 聖霊の主導権を認める必要

A. 聖霊の自由なお働き (ヨハネ3:8)

1. それは「風」に譬えられる

- ヘブル語の「ルアハ」も
ギリシヤ語の「プニューマ」も
＝「風」「息」「霊」
- プニューマ＝息
→空気が息づく「風」
→神の息が人に吹き込まれて
「霊」的存在となる
→聖霊は「神の霊」

2. 聖霊は自由に働きなされる：

「自分の思い通りに吹く」

(使徒**2:4**)

3. 聖霊は人を活かし給う

- 人間の創造において
(創世記2:7)
- 罪のゆえに、神の霊を失った
(エペソ2:1)
- 聖霊による生まれ変わりが
絶対的必要

4. 聖霊の働きはハッキリと
確認できる：
「その音を聞く」

• 聖霊の証(ローマ8:16)

• 私達の霊の証：
生活の変化からくる納得

B. 私達のなすべきつとめ

1. 聖霊の働き給う方向に 自分を合わせる

- 未信者の時代でも
- 信仰を持つときにも
- 信仰を持った後も

2. 肉に頼らず、聖霊に信頼する (ローマ8:5-7)

3. 聖霊の働きを妨げる活動を 止める

「御霊を憂えさせる」

(エペソ4:30)

「御霊を消す」(1テサロニケ5:19)

「御霊に逆らう」(使徒7:51)

「聖霊を冒瀆する」

(マタイ12:31、32)

4. 聖霊の力強い働きのために 祈る

「息よ。四方から吹いて来い。」
(エゼキエル37:7)

終わりに：

聖霊の声に従おう